

# 平成17年度 定期作況報告

(8月20日現在)

北海道立中央農業試験場

# 水稻の部

水田農業科 (岩見沢市)

## 気象概況

- 7月下旬：平均気温は平年より0.9 低く、降水量は平年の117%、日照時間は平年の84%であり、やや低温寡照に経過した。
- 8月上旬：平均気温は平年より2.4 高く、降水量は平年の125%、日照時間は平年の130%であり、高温多照に経過した。
- 8月中旬：平均気温は平年より3.3 高く、降水量は平年の22%、日照時間は平年の136%であり、高温多照に経過した。

以上、1ヶ月を通じ気温は平年より1.5 高く、降水量は平年比101%、日照時間は平年比116%であり、高温多照に経過した。

7月下旬～8月中旬気象表

項目	7月下旬			8月上旬			8月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温( )	24.9	25.9	1.0	28.2	25.3	2.9	28.0	24.5	3.5	27.0	25.3	1.7
最低気温( )	17.8	18.6	0.8	20.2	18.3	1.9	19.9	17.0	2.9	19.3	18.0	1.3
平均気温( )	21.4	22.3	0.9	24.2	21.8	2.4	24.0	20.7	3.3	23.1	21.6	1.5
降水量(mm)	59.0	50.5	8.5	79.5	63.7	15.8	6.5	29.9	23.4	145.0	144.1	0.9
日照時間(hr)	42.2	50.0	7.8	58.5	44.9	13.6	64.8	47.7	17.1	165.5	142.6	22.9

注) データは「アメダス岩見沢」を使用。平年値は平成6年～15年10ヶ年平均値を農試が算出し使用。最高、最低、平均気温は期間内の平均値。降水量、日照時間は期間内の積算値を用いた。

## 作 況

水稻 作況：やや良

事由：止葉期はほぼ平年並であった。その後7月第6半旬がやや低温に経過したものの、8月上、中旬は高温に経過したことから出穂期はほぼ平年並であった。8月20日における稈長は、「きらら397」で4.8cm、「ほしのゆめ」で1.6cmそれぞれ平年に比べて長かった。一方、穂長は「きらら397」で1.1cm、「ほしのゆめ」で0.2cm短かった。また、穂数は「きらら397」で平年比142%、「ほしのゆめ」で127%であった。葯長は、不稔の発生が懸念される1.8mmより長く、達観調査による不稔の発生はわずかであった。以上より、作況は「やや良」である。

品種名	栽培方法	止葉期(月.日)			出穂期(月.日)			葯長(mm)	
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	昨年
きらら397	中苗紙筒	7.24	7.23	1	8.4	8.3	1	2.06	1.99
ほしのゆめ	中苗紙筒	7.21	7.21	0	8.2	8.1	1	2.04	1.98
ななつぼし	成苗ポット	7.19	-	-	7.31	-	-	1.90	-

品種名	栽培方法	稈長(cm)			穂長(cm)			穂数(本/m <sup>2</sup> )		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
きらら397	中苗紙筒	65.5	60.7	4.8	15.3	16.4	1.1	864	610	254
ほしのゆめ	中苗紙筒	66.5	64.9	1.6	15.5	15.7	0.2	816	645	171
ななつぼし	成苗ポット	66.4	-	-	16.7	-	-	708	-	-

注1) 平年値は前7ヶ年中、平成16年(最豊)、15年(最凶)を除く5ヶ年平均

注2) 本年より従来の奨励品種決定調査圃場(グライ土)から系統養成圃場(グライ土)に移動した。

注3) 耕種概要

土 壤 細粒グライ土  
 施 肥 高度化成472全層施肥 N - P<sub>2</sub>O<sub>5</sub> - K<sub>2</sub>O=8.0-9.7-6.9 kg/10a 堆肥1,500kg/10a  
 播 種 量 :中苗紙筒=180cc/箱 成苗ポット=35g/箱 移植方法:手植え  
 栽 植 密度 :30×13.3cm 25株/m<sup>2</sup> 4本植え 反 復 :2

## 畑作の部

畑作科 (長沼町)

### 気象概況

7月下旬：気温は平年よりやや低かった。降水量は27日に台風7号による35mmの降雨があり、平年に比べやや多かった。日照時間は少なかった。

8月上旬：気温は平年より著しく高く、3日と9日をのぞき夏日となった。降水量は、2～4日にまとまった降雨があったものの、平年に比べやや少なかった。日照時間は多かった。

8月中旬：気温は前期に引き続き著しく高く経過し、15日には真夏日を観測した。19～20日に10mmの降水を観測したが、降水量は平年に比べかなり少なかった。日照時間は平年より多かった。

以上、1ヶ月を通じてみると、気温は高く、降水量は少なく、日照時間は多かった。

7月下旬～8月中旬気象表

項目	7月下旬			8月上旬			8月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温 (℃)	20.8	21.4	0.6	23.3	21.1	2.2	23.2	20.2	3.0	22.4	20.9	1.5
最高気温 (℃)	25.0	25.3	0.3	27.5	24.8	2.7	27.4	24.1	3.3	26.6	24.7	1.9
最低気温 (℃)	18.0	18.5	0.5	20.5	18.4	2.1	20.2	17.2	3.0	19.6	18.0	1.6
降水量 (mm)	59.0	54.9	4.1	62.5	67.0	4.5	10.0	41.1	31.1	131.5	163.0	31.5
降水日数 (日)	4.0	4.3	0.3	4.0	3.8	0.2	2.0	3.7	1.7	10.0	11.8	1.8
日照時間 (hr)	31.2	39.3	8.1	40.1	35.5	4.6	53.3	39.9	13.4	124.6	114.7	9.9

注1) データは「アメダス長沼」を使用。平年値は平成7年～16年の確定値を10年間農試で平均し、本年値は平成17年の速報値を用いた。

注2) 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値を用いた。

## 作況

### 1. 秋まき小麦 作況：やや良

事由：出穂期までの生育の遅れは6月下旬の高温でやや回復したが、成熟期は平年より4日遅れとなった。「ホロシリコムギ」は穂数がほぼ平年並みであったが、6月下旬の開花期頃の気温が高かったため結実が良好であり、千粒重は平年より軽かったものの、子実重は平年を上回った。「ホクシン」は穂数が平年より多く、開花期の6月中旬の気温は平年並みで、千粒重が軽かったものの、子実重は平年をやや上回った。

以上により、現在の作況はやや良である。

品種名	成熟期(月.日)			稈長(cm)			穂長(cm)			穂数(本/m <sup>2</sup> )		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
ホロシリコムギ	7.26	7.22	4	100	98	2	8.7	8.7	0.0	588	554	34
ホクシン	7.21	7.17	4	88	89	1	8.8	8.9	0.1	736	611	125

品種名	子実重(kg/10a)				リットル重(g)			千粒重(g)			品質(等級)	
	本年	平年	比較	平年対比(%)	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年
ホロシリコムギ	598	543	55	110	792	775	17	42.2	45.4	3.2	-	2下
ホクシン	632	612	20	103	798	795	3	37.0	39.4	2.4	-	2中

注)平年値は前7か年中、平成12年(最凶)、15年(最豊)を除く5か年平均(各収穫年度)。

### 2. 春まき小麦 作況：良

事由：成熟期はほぼ平年並の8月1～2日となった。出穂前までの生育量は少なく、平年に比べ穂数が少なかったが、7月の気温が平年並からやや低めに経過し、登熟は極めて良好であった。リットル重、一穂粒数、千粒重はいずれも平年を大きく上回ったことから、子実重は平年比128%の多収となった。

なお、等級検査は未受験である。

以上により、現在の作況は良である。

品種名	成熟期(月.日)			稈長(cm)			穂長(cm)			穂数(本/m <sup>2</sup> )		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
ハルユタカ	8.02	8.02	0	84	86	2	8.7	8.0	0.7	386	473	87
春よ恋	8.01	8.02	1	91	93	2	8.8	8.6	0.2	401	478	77

品種名	子実重(kg/10a)				リットル重(g)		
	本年	平年	比較	平年対比(%)	本年	平年	比較
ハルユタカ	463	361	102	128	820	770	50
春よ恋	548	427	121	128	827	798	29

品種名	一穂粒数(粒)			千粒重(g)			品質(等級)	
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年
ハルユタカ	35.3	27.3	8.0	41.0	37.0	4.0	-	規格外
春よ恋	38.6	30.7	7.9	41.9	39.3	2.6	-	2中

注)平年値は前7か年中、平成12年(最凶)、14年(最豊)を除く5か年平均。

一穂粒数は、各反復で有効穂を50穂調査。

### 3. 大豆 作況：平年並

事由：開花期は「ツルムスメ」「ユウヅル」とも平年より1日遅かった。8月上旬～8月中旬はかなりの高温で経過したことから、中生の「ツルムスメ」では主茎長、主茎節数とも平年をやや下回ったが、晩生の「ユウヅル」では主茎長は平年よりかなり高く、分枝数は平年より少なかった。

参考値ではあるが、着莢数はほぼ平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である。

品種名	開花期(月.日)			主茎長(cm)			主茎節数(節)			分枝数(本/株)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
ツルムスメ	7.20	7.19	1	53.3	55.4	2.1	11.8	12.3	0.5	6.5	6.0	0.5
ユウヅル	7.30	7.29	1	88.6	79.3	9.3	15.8	15.6	0.2	3.3	5.4	2.1
トヨムスメ(参考)	7.18	7.16	2	60.3	61.6	1.3	10.2	10.4	0.2	6.2	6.9	0.7
スズマル(参考)	7.23	7.26	3	60.2	75.5	15.3	13.3	14.4	1.1	9.6	11.5	1.9

品種名	着莢数(莢/株)		
	本年	平年	比較
ツルムスメ	60.7	61.2	0.5
ユウヅル	48.6	41.9	6.7
トヨムスメ(参考)	72.0	74.6	2.6
スズマル(参考)	152.9	148.5	4.4

注)平年値は前7か年中、平成14年(最凶)、16年(最豊)を除く5か年平均。

ただし、トヨムスメ スズマルは、前4か年の平均を平年値とし参考とする。

8月の着莢数は前4か年の平均を平年値とし参考とする。

### 4. 小豆 作況：やや良

事由：開花期は平年より1日遅い7月25日であった。開花期後に十分な降雨があり、気温も高く経過したため、主茎長、主茎節数、分枝数および着莢数はいずれも平年を上回っている。

以上により、現在の作況はやや良である。

品種名	開花期(月.日)			主茎長(cm)			主茎節数(節)			分枝数(本/株)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
エリシヨウス	7.25	7.24	1	66.6	54.9	11.7	14.2	12.3	1.9	4.7	3.9	0.8

品種名	着莢数(莢/株)		
	本年	平年	比較
エリシヨウス	63.7	50.3	13.4

注)平年値は前7か年中、平成12年(最凶)、15年(最豊)を除く5か年平均。

### 5. ばれいしょ 作況：良

事由：7月下旬に一時的な旱魃状態となり早生種では茎葉の黄変が始まった。8月上旬～中旬は周期的に適度な降雨と、高温・多照に経過したため、生育は回復した。8月20日現在枯凋始に達したが、枯凋期は平年より遅れている。上いも数は平年より多く、上いも一個重は平年並であることから、上いも収量は平年を大きく上回った。また、でん粉価は14.8%と平年並である。なお、疫病や軟腐病などによる塊茎腐敗の発生は僅か程度認められる。

以上により、現在の作況は良である。

品種名	上いも数(個/株)			上いも一個重(g)			上いも重(kg/10a)			でん粉価(%)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
男爵薯	14.6	11.7	2.9	78	80	2	5033	4102	931	14.8	14.7	0.1

注)平年値は前7か年中、平成11年(最凶)、13年(最豊)を除く5か年平均。

「上いも」は21g以上のいもである。

### 6. てんさい 作況：平年並

事由：8月上旬～中旬は周期的に適度な降雨と、高温・多照に経過したため、地上部は順調に生育した。草丈及び葉数とも平年を上回っているが、根周は平年並であった。病害虫の発生は、前期に引き続きヨトウガの食害が僅かに認められるが、褐斑病の発生は認められない。

以上により、現在の作況は平年並である。

栽培法	品種名	草丈(cm)			葉数(枚)			根周(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
移植	モノホマレ	68.2	63.5	4.7	31.2	27.0	4.2	30.5	30.5	0.0

注)平年値は前7か年中、平成12年(最凶)、16年(最豊)を除く5か年平均。

### 7. 中央農試作況報告について

平成13年度より、すべての作物で土壌物理性・排水性が改良された基盤整備後の圃場を使用している。

当報告は、中央農業試験場のほ場において行った生育調査について、調査時点における値を中央農業試験場の平年値と比較したものであり、当該管内の作況を代表するものではありません。